

そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園

園だよりNo. 8

2025年11月25日発行



11月の聖句

「喜ぶ人とともに喜び、
泣く人とともに泣きなさい」

ローマの信徒への手紙12:15

人生の歩みには、喜びの時もあれば悲しみの時もあります。自分だけの思いに閉じこもるのではなく、隣人の心の動きに寄り添い、ともに分かち合うことができたならどんなに素晴らしいでしょうか。誰かの喜びを心から喜ぶとき、その人との絆は深まり、そこに感謝と祝福が広がります。また、誰かの涙に寄り添うとき、その人は孤独から解き放たれ、神の慰めが注がれていきます。喜びと悲しみのかち合いは家庭や社会においても真の支え合いを生み出します。このみ言葉を胸に、日々の生活の中で隣人と共に歩む者でありたいと願います。

チャブレン 司祭 クリストファー 永谷 亮

今年もたくさん食べました！おもちつき

11月7日(金)
今年も収穫感謝祭のおもちつきでした。こどもたちは、おうちでもバスでも玄関でも元気に「もーちーきー、もーちーきー！そーれーけー、ぱんたん！」

大声で歌い
もう果しで
わけてあげ
先生方も
何時も
前から
準備
していました。

当日はお父さんお母さんも
お手伝いに来て下さいました。
炊いたもち米は5升、
それをも全く余らないほど
こどもたちは
よく食べましたよ！

コロナの年から去年までは
自分の紙コップに
自分でまらめたおもちを入れてもらいましたが
今年からは、昔のようにクラスの大皿にみんな
おもちをまらめました。
味つけなしのできたてもち
みんな食べれば
よかったなあ。ぜひ来年！

お母さん方に
小さく丸めて
もらいましたが、
クラスでは子ども
状況に合わせて
さらに
小さく
切ったり



来年は
味つけたものを
配ることに
しました。

それにしても終わったら
大人たちはクタクタです。
でもおもしろい！
なぜかみんな気合いが入る
それがもちつき
なんですね。

おかわりが止まらない!!

今年は少し早く、12月5日と6日の発表に向けて、各クラスの練習が行われています。

クリスマス会に向けて

運動会と違って一人一人のせりふや動きがあるので、
おうちの皆さんは、ついお友だちと比べてしまい、
じ西己になったり、じれったく思うことがあるかもしれません。

もじもじ
もじもじ

口の中から
出てこない
せりふ、
まっかな
(まっパ)

「いつもと
ちがう」

「みられてる」

「はずかしい」とは気持ち
じが表れている

証状です。

その姿もまたかわいらしい！

その段階を乗り越える時期もそれぞれ

緊張に負けないで頑張れるように、

安心できるまで先生やお友だちと

練習したり

自由に

遊ぶ時間を

いっぱい作ったりしながら

クラスでは一歩一歩進んでいます。

どうしたら乗り気になれるか
どうしたらこの子の良さが出るか

先生たちはいろいろ作戦を
練って工夫しています。

みんな昨日より今日、

少しずつ上手になっていて

先生たちは毎日感動し、

お友だちもその歩を

喜んでくれます。

そんなわけで

もし本番

ものすごい緊張で

かたまってしまっても、おうちの皆さんは

がっかりしないで、これまでの頑張りを

ともに喜んであげてくださいね。

さようなら園庭の松の木

10月の末、ついに園庭の大きな松の木を
伐採しました。夏の強い日差しから

みんなを守り、

まっほうくりを

いっぱい落として

遊ばせてくれたのですが、

年々、枯れ枝も増え、

雪の重みで折れた

大きな枝が

園庭や道路に

落下して危険

だったため、

泣いて泣いて

伐採と

なりました。

大きな松だつたので

枝を落としたあと

ろくに分けてクレーンで

つるし、ダンプに載せる作業は

丸一日かかりました。

近年温暖化の影響で、石更く

引き締まって育つはずの樹の組織が

やわらかく弱くなってきて、揺れが大き

風で折れる事が多

なっているそうです。

来年は新しく樹を

植えて、子どもたちと一緒に

大きく育てていきたいと思います。

果樹を植えたいた

くまも心配です。ね。

心優しいこころです。

教会のクリスマスにもぜひ

幼稚園のクリスマスは12月5日と6日に行いますが、岩見沢聖十字教会のクリスマス礼拝もあります。12月21日(日)10:30から、幼稚園内の礼拝堂で行います。礼拝は大人でも子どもでも、どなたでも参加できます。お話は永谷チャブレンがさせていただきますし、先生方も多く参加してくれます。年長さんの聖誕劇に使われる聖歌なども歌いますので、ぜひどうぞ！